

令和3年10月 文書質問及び回答

1 質 問 者 我孫子洋昌議員

2 質問事項 下川町における東京2020大会開催の効果について

質問の内容・要旨	回答
<p>①大会コンセプトについて コロナ禍のもと、東京2020大会が開催された。組織委員会が掲げた大会の基本コンセプトのひとつである「多様性と調和」は、下川町において、どのように具現化されていくのか。</p> <p>②ビレッジプラザに供出された木材について 東京2020大会のために、下川町から提供したFSC認証材は、『選手村ビレッジプラザ』において活用されたとのことだが、これらは大会関係者や選手にどのように認知されたのか。ビレッジプラザにおいて、木材供出地である下川町はどのような活動を実施したのか。 また、大会開催後は施設が解体され、木材は下川町に返却される予定だが、この木材はどのように利活用する予定か。</p>	<p>① 「大会コンセプトについて」につきましては、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の組織委員会が、本大会を通して世界中の人々の認識を深めるよう取り組んだものであります。本町においては、オリンピック選手も多数輩出していることから、町民の皆さんのがオリンピック精神を尊重し、認識を深めていただくことが大切だと考えます。</p> <p>② 「ビレッジプラザに供出された木材について」につきましては、組織委員会のルールに基づき、町内6事業者と連携し、下川町産カラマツ FSC 認証材に「北海道下川町」の焼き印を押して提供する活動を行い、大会に先立ち開かれた報道陣や木材を提供した全国63自治体への公開を通して国内外へ発信されたほか、現場において選手や大会関係者に認知されたものと考えております。なお、ビレッジプラザは、大会期間中、選手及び関係者のみ利用可能な施設です。 また、木材の利活用につきましては、今後、木材が返却されて参りますので、住民をはじめ多くの方にご覧いただけるよう公共的な利用等を検討して参ります。</p>